



第164号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町

阿良池12

電話 (0561) 73-1111代

平成20年度
学位記授与式

「変化に対応して 常に努力を！」

学院長 小出 忠孝

平成20年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の堂々の功成り、学位記を手にする事が出来た喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていると思います。

「学院大卒の誇り」

新しい人生の門出にあたり、諸君にまず学院大卒業の誇りを持って頂きたい。諸君が学んだ愛知学院は創立133周年を迎える、中部で最も古い歴史と伝統を持つ学園であり、大学は8学部17学科、大学院8研究科に学生1万2千名を擁する私立の大規模総合大学です。本学では昨春、健康栄養学科、宗教文化学科を、また

大学院には健康科学専攻の研究科を増設し、時代のニーズに積極的に対応する、中部の主要大学となっています。諸君はこの様な名門愛知学院大学で、多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、また多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努める事が出来ました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている11万名の先輩がいます。すべて本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで、誇り高く育った学院生です。この建学の精神は開祖道元禪師の教えであり、人間として正しく生きていく上で、最も大切な基本的精神です。本学で学んだ諸君は一生この建学の精神を座右の銘



として堅持し、社会で活躍される事を希望します。

「世界同時不況」

諸君が明日から門出する社会は、21世紀9年目を迎え、すべての面で新しい時代の訪れが期待されています。しかし現実の国際社会ではパレスチナ、アフガン、アフリカ諸国等における宗教・民族・経済に根ざした紛争や対立が国際平和を脅かし、また地球環境、食糧、人口、難民など地球規模の問題も深刻化しています。さらに昨秋米国大手証券の経営破綻によるリーマンショック以降、百年に一度と言われる金融危機と金融資本市場の混乱は、実体経済にも悪影響を及ぼし、世界的な景気後退が発生しています。米国の昨年10・12月期のGDPは年率6.2%減と、1982年以降最大の悪化となり、また欧州ユーロ圏の同時期のGDPは年率6%減とユーロ導入以来、最大のマイナス成長を発表し、戦後最悪の景気後退になると予想されています。

わが国でも政府は同時期のGDPが年率で12.7%減と主要国で最も急激な落ち込みとなり、また第一次石油危機以来最大の悪化と発表しています。その主因は輸出に急ブレーキがかかっているため、日本

高大接続テスト協議・研究委員会 小出学長 委員に指名される

文科省の中央教育審議会の諮問に、昨冬高大接続テスト(仮称)協議・研究委員会が設置され、国公立大・高校、教育委員会、学識経験者等の代表が委員に任命された。大学全入時代を迎え大学の質の向上のため、高大接続の新たな仕組みを検討するもので、学長の責任は大きい。

経済の現状は戦後最悪、最大の危機である指摘されています。また先月ローマで開催されたG7会議でも、日米欧が同時マイナス成長に陥っている世界経済の悪化は、09年中は続く予測し、それに対応するため各国が、財政出動など政策を総動員する必要があると決意を示しています。

一方世界的な景気後退で、国内の生産活動の低下、雇用状況の悪化が加速し、完全失業率の上昇、有効求人倍率の低下等、景気悪化が一段と深まり、雇用への悪影響が急速に広がっています。しかし諸君の昨年の就職活動にあたっては、景気の急変する中で、求人件数も多く好況の中での就職活動であり、本学の就職内定率も全国平均を大きく上回る有利な状況でした。しかし今後は景気低迷により厳しい状況が続くと考え、必要があり、しかしどの分野に進もうと全力をあげて頑張れる事を希望するものです。

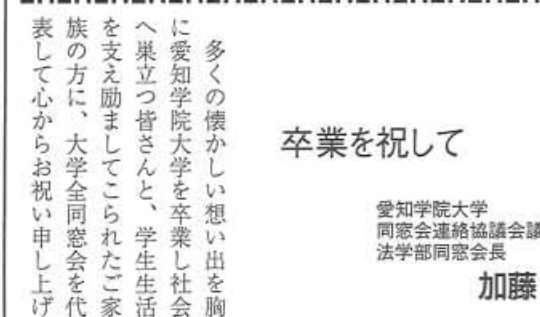
「危機は飛躍の好機」

わが国は昭和20年に第二次大戦敗戦という有史以来の危機に陥りました。しかし昭和の先人は戦災の廃墟の中から立ち上がり、涙ぐましい努力により経済復興を成しとげました。さらにその後の石油ショックや近年のバブル崩壊等、度重なる危機に対しても、その都度それを飛躍の好機として乗り越え、驚異的な成功を収め世界第二の経済大国を創り上げてきました。しかし今回の世界同時不況は百年に一度

と言われる、かつて経験した事のない経済危機で、わが国も之を免がれる事は出来ません。世界に誇ってきた自動車産業も電機産業も一転して大きな損失を計上しています。さらに急速な少子高齢化、資源や環境の制約等、幾多の困難な試練も乗り越えなければなりません。しかし昔から言われている様に、「危機は飛躍の好機」でもあります。私達の先人は知恵と努力と勤勉により、幾多の危機を乗り越え、現在の豊かな日本を創りあげてきました。日本人のこの底力を信じ、活力ある日本を再び創りあげねばなりません。それを実行するのは21世紀の日本を背負って立つ若い諸君です。とくに将来社会の中堅リーダーとして活躍する大学卒業の諸君達です。日本の将来を創るのは自分達自身であるという気概を持ち、将来が「どうなるか」ではなく、一人ひとりが「どうするか」であることを自覚し、社会の変化に的確に対応し、常に努力精進し活躍される事を期待するものです。しかし諸君の将来は安易な道ばかりではなく、厳しいものがあると覚悟しなければなりません。長い人生で順調な時も決して奢ることなく、また逆に不遇の時にも決して挫ける事なく、常に全力をあげて挑戦する事を切望致します。

最後に人生80年時代を迎え、諸君の前途は長い人生となりますが、諸君のご健康とご多幸を祈念致します。

多くの懐かしい思い出を胸に愛知学院大学を卒業し社会へ巣立つ皆さんと、学生生活を支え励ましてこられたご家族の方に、大学全同窓会を代表して心からお祝い申し上げます。



卒業を祝して

愛知学院大学
同窓会連合協議会議長
法学部同窓会長

加藤 勇

YES WE CANの精神で

大学後援会会長

神原 譲



ついても深いご理解とご協力を賜りましたことに、後援会を代表して厚く御礼申し上げます。

卒業は一つの区切りであり、卒業後の世界をどう捉えるかにもよりますが、生涯学習の考えをとりますと、大学卒業も人生の一つの通過点であり、多くの人はこれからがいよいよ社会という現場と直結する新たな学びの出発点になります。

今、日本、いや世界経済は未曾有という言葉があてはまるように大変な時代に突入しております。想像以上に厳しい現実社会があなた達を待ち受けています。

こうした中、「企業は人なり」という言葉があるように、企業が求める人材も、当然今まで以上に厳しくなります。「個性」も大事でしょう。「想像力」も大切でしょう。「支えあう心」も必要でしょう。「謙虚さと積極性」の葛藤

もあるでしょう。いろいろな思いの中、志を、目標を自分で確かにしてください。いつも笑顔と明るさを忘れずに、心身ともに健康に留意して、「YES WE CANの精神」で突っ走ってください。本日まで学校で、クラブ活動で得たすばらしい友人を大切にしてください。同窓生、先輩、友人は必ずや心の支えとなってくれるはず。本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」の心を今一度理解していただき、常に感謝と思いやりを持ってください。

最後にもう一度、父母、友人、先生など多くの人たちにこの卒業を感謝し、健康にはくれぐれも留意され、厳しい船出となりますが、愛知学院大学の卒業生という誇りを持つてすばらしい社会人となられますよう期待しお祝いの言葉と致します。

「卒業おめでとう」でございます。卒業は終わりではありません。次へのスタート台です。「生涯」学習の気持ちを忘れず、これから自己を啓発し自らの力で人生を切り開いていくってください。

あなたがこの愛知学院大学で学ばれたことは、本当によい出会いであったと思います。なぜなら、「ここ」にも目を向けさせてくれたことです。「モノ・カネ」がすべてではないことは、世界中が、百年に一度という混沌とした今、現実のものとして体験できます。激しい世の移り変わりは社会に出るあなたたちに容赦なく襲いかかります。それは昨秋突然やってきた就職と雇用の現実がそのことを実感させてくれました。

大学での毎日を想い起こし

卒業生へ贈る言葉 (平成20年度)

転んだら起きること、それが学びです



経営学部長
内藤 勲

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。
四年間の大学での学びを終えて、皆さんは社会へと巣立って行かれます。旅立つ社会が明るい社会であればよいのですが、残念ながら明くはないようです。米国の金融危機に端を発する世界同時の大不況。社会的難問を抱えながらも身動きしない政治情勢。毎日のよ

うに報道され、殺人事件という言葉にも半ば慣れた社会。日本という社会に暗雲が垂れ込めているようです。
しかし、見方を変えれば今の社会は希望に満ちた社会とも言えます。不況であれば、後は好況に向かうだけです。一人一人が好況に向かうようにがんばればよいのです。政治情勢が行き詰まっている、問題が大きくなれば、自分たちでかえればよいのです。若者は政治を変える権利を持っています。そのエネルギーも持っているはず。その殺伐とした社会も、一人一人が自分の人間関係を暖かなものにすれば良いのです。社会を造っているのは、結局自分たちです。

社会の暗い側面を見ることがや社会の暗さを知ることは大切でしょう。しかし、暗いからと言って嘆いてそこに座り込むのではなく、暗いから明るくしよう、暗いから明るさを見つけてやうとする気持ちで、行動こそ重要です。人生は転んだとしても起きあがりながら生きていくことです。そして人は起きあがるたびに賢くなります。起きあがることに学びの原点があり、起きあがる希望を持ち続けることが学びの原動力です。今や人生八〇年、皆さんにはまだまだ長い学びの道が続いています。大学四年間で培った「学び力」を基盤に、転んでは起きあがり続け、学び続けていってください。

今こそ「ビジネスヒューマン」が必要なとき



商学部長
田畑康人

学士力を身につけ、ここに学位授与式を迎えた卒業生の皆さん、栄えある卒業を心からお祝い申し上げます。
皆さんがこれから旅立つビジネス社会は、百年に一度といわれる不況の真只中にあります。しかし4年間商学部で学んだ知識を総合して知恵に

変え、ビジネスヒューマンとして立ち向かえば、何も恐れることはありません。
アメリカのサブプライム問題に端を発し、世界中を巻き込んだ大不況の根本原因として、人間性・倫理性の欠如が挙げられるかもしれません。加えて、額に汗すること嫌いな、単に利己的な欲望に従って「利益さえ上げればよい」という風潮が世界中に蔓延していたように思えるのです。
商学部は、愛知学院大学の建学の精神「行学一体、報恩感謝」の下に、4年前「ビジネスヒューマン(Business Human)」を育むことを教育目標として掲げました。これは、単に利潤追求に走る従来型のビジネスマン(Businessman)としてのB(H)uman(ヒト)ではなく、自然や世界との共生の心を持ち、正邪の判断を常に自分に課しながらビジネスに携わる人間(Human)を意味します。この教育目標の下に育った最初の卒業生が皆さんのことです。

このような商学部教育を受けたビジネスヒューマンこそが、未曾有の危機を乗り切るために必要不可欠な人材・人材となりうるのです。時は今、人間性と倫理観を兼ね備えた真のビジネスヒューマンを目指して巣立つときです。

「生きがいある確かな人生を」



文学部長
黒田安雄

大学生活を終え社会へと巣立られる卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。文学部を代表して心からお祝い申し上げます。
愛知学院大学での四年間、皆さんはそれぞれの学科で専門的知識を身につけ、友人との出会いやゼミ・クラブ等での活動を通して、人生の糧と

なるべき多くの知識を修得されたことでしょう。これから学生生活で学んだことを無にするのではなく、目指すそれぞれの新しい目標に向かって、大きく羽ばたいて欲しいと思っています。
しかし今、我が国と世界は予測困難な、不透明で複雑な時代を迎えています。経済の成長が自己目的となり、あらゆる社会の側面に不均衡や歪みを生じさせ、人々の将来への夢を萎ませています。自然環境の破壊や人心の荒廃を見ても、これは一度立ち止まって、これまで拠って立ってきたものは何であったのか、人

間の幸せとは何か、といった基本の問いに真摯に向かい合うことが求められています。
これからの社会の担い手になる皆さんには、さらなる創造性や行動力が求められていますが、幸い私たちは、試練があっても貫きたい志や、他人の痛みを放つてはならない人情を持ち合わせています。相互の立場を尊重し理解しあうて、いかに協調し共生したらいかが、生きがいある確かな人生を送るためにも、様々な価値観の存在することを充分に認識して、志を持って社会に貢献されることを期待して止みません。

「自信を持とう」



心身科学部長
佐藤祐造

平成二十年度の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。
心身科学部は昭和四十五年に開設された文学部心理学科を平成十五年四月に心身科学部心理学科に改組し発足しました。

平成十六年四月には、厚生労働省の推進する「健康日本21」に関連し、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病およびその予備群を中心とした半健康な状態の人に対し、より高い健康度、活動能力とQOLの向上を目指す健康づくりを指導できる人材育成を目指し、健康科学科が発足しました。
したがって、健康科学科の皆様は第二期の卒業生ということになります。

平成二十年四月には、「健康日本21」に栄養面から生活習慣の指導をしたり、医療現場で活躍できる栄養士・管理栄養士養成を目指す健康栄養学科が設置されました。
皆様はご卒業後、一般企業や行政、教員などに就職されたり、大学院への進学等、様々な進路に進まれます。
四月から就職された新しい職場では、対人関係をはじめ、多くの「カルチャーショック」を受け、軽いうつ状態になる方も少なくないと思います。
私は四年間、健康科学科の学生さんに講義やゼミを行って来ましたが、皆様優秀な方ばかりで、自信を持って良いと思います。自分が苦しい時には、他人も苦しいと思い、がんばりましょう。
皆様の「ご健康」と「活躍」を心よりお祈り申し上げます。

誠実に愛をもって生きる



情報社会政策学部長
二宮克美

平成二十年度の卒業生のみならず、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、「情報社会政策学部」最後の卒業生となります。
これからは、学生時代とは違ってかわって、厳しい社会に出て行くこととなります。大学で学び培ったことに自信をもってください。社会人

として生活していくみなさんに、3つのことを贈ります。1つは、「誠実」です。自分に対して他人に対しても、虚偽りなく「誠実」であって欲しいと思います。みなさん自身が「誠実」であれば、人もみなさんに「誠実」に対応してくれるはずです。なかにはそうでない人がいるかもしれませんが、あなたが自分自身に対して「誠実」であれば他人はどうでも良いのです。エリクソンは青年期のアイデンティティ達成の結果として得る徳として「誠実」をあげています。
2つめは、「愛」です。人

を愛すると同時に自分も愛して下さい。人生を豊かに生きるためには、「愛」を求めるのではなく、「愛」をまわりにそそいでください。フロイトは、人生で大切なこととして「愛する」と「働く」ことだと述べています。
最後は、自分を生かして「生きる」ということです。自分を生かすとは、自分らしさを出すことです。自己を実現させることです。心理学者のマズローは自己実現の欲求こそ自己を成長させると述べています。
誠実に愛をもって人生を生きていってください。

「公正で思いやりのある社会の実現のために汗をかく」



法学部長
山野嘉朗

皆さん、卒業おめでとうございます。
愛知学院大学法学部でのキャンパスライフはどのようなものであったでしょうか。入学前に抱いていた夢は実現しましたか。学問はもちろん、クラブ活動やゼミ等での思い出をたくさん詰め込んだ旅立ちを法学部スタッフ一同、心から祝福します。

皆さんは、六法を中心に様々な学問を学んできました。定期試験やレポート作成のために学んだ細かい知識の大部分は、次第に忘れ去られていくことでしょう。しかし、それはたいした問題ではありません。既に法的思考法(リーガルマインド)という大きな力をしっかりと身につけているのですから。
現在の日本社会を見渡すと、残念ながら、様々な分野で、その地位にあるまじき不当・違法な行動をとる例が目立ってきています。詭弁を弄して責任を転嫁する姿もしばしば見かけます。また、私利私欲

に走り、傲慢な態度を示す人も少なくありません。
このような社会状況にあつて、法学部卒業生の果たすべき役割が重要になっていきます。皆さんは、法学部の授業の中で、「公平・正義」という理念を学ぶとともに、「行学一体・報恩感謝」という建学の精神を教えられてきました。それが、今まさに求められているように思われます。これからは、他者(弱者)を思いやりつつ、公正な社会の実現のため、大いに汗をかくて下さい。皆さんならできるはずです。

学位



Zaid Mohd Zin 氏

Zaid Mohd Zin (ザイド・モハメド・ズイン)氏は、平成14年、名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期課程国文学専攻満期退学。平成20年から1月から9月末まで本学人間文化研究所研究員。

博士論文は、「『分類語彙集』による語彙の比較研究—日本・マレー両言語の教育基本語彙を対照に—」で、日本語の教育基本語彙とマレー語のそれに該当するものを比較したもので、マレー語と日本語の比較語彙研究の本格的な第一着手である。語彙を総体として扱う研究、しかも意味分野別構造分析法を適用しての研究はまだ未開の分野で、マレー語における語彙総体的研究に先鞭を付けるものであり評価すべきである。



近藤千加子 氏

近藤千加子氏は、平成18年、本学文学研究科心理学専攻博士後期課程満期退学。本学大学院研究員、臨床心理士。

博士論文は、「児童虐待の心理療法—不適切な養育の影響からの回復接近モデルの提起—」で、第1に虐待を「子供の心身の健康な発達を妨げるような不適切な養育を受けていること」と定義にとらえ、その本質的な問題をトラウマや愛着にあるとし、独自に開



佐部利真吾 氏

佐部利真吾氏は、平成18年、本学文学研究科心理学専攻博士後期課程満期退学。

博士論文は、「最尤非対称多次元尺度構成法の研究」で、非対称多次元尺度構成法は、最近まで記述統計的方法にとどまってきたが、非対称MDSの基礎モデルを確率モデルとした上で、解法として最尤法を導入し、推測統計学的非対称MDSを開発した点に最大のオリジナリティがある。また、多くの研究者が提案したモデルをデータに基づきすべて選択できる点でも汎用性が高く、データにもとづき最適な尺度レベルを同定できる点でも汎用性が高い。さらに、分割表解析における対称性検定を非対称MDSの一連の手続きの中に系統的に組み込んだ点が評価できる。



高橋 彩 氏

高橋彩氏は、平成9年本学文学研究科心理学専攻修士課程修了、平成20年本学総合政



金 玉花 氏

策研究科総合政策専攻博士課程満期退学。平成20年4月より本学総合政策研究科研究員。博士論文は、「進路選択時の親子間コミュニケーションとアイデンティティとの関連」で、進路選択といった青年のアイデンティティに直接関わる課題を設定し、親子青年間のコミュニケーションの特徴とアイデンティティ形成との関連を検討したものである。同じ事柄に対して親と子が異なる社会的領域から判断するために葛藤が起こり、青年が自分で意思決定を行なうことが持つ意味などについて、社会的領域理論の立場から研究結果の考察を行った点に特色がある。

金玉花氏は、中国延辺大学医学部卒業、本学総合政策研究科総合政策専攻博士後期課程修了。

博士論文は、「日本と中国の小中学生のストレスについての比較研究」で、日本と中国の小中学生ならびに中学生を対象に、ストレスに関する心理的要因について、比較文化的研究を詳細に実施した点に特色があるとともに、ストレスサー、ストレス反応、ソーシャルサポート、満足感、コーピングといった概念を駆使し、小中学校のストレスモデルを構築した点に特色がある。また、日本と中国の小中学生各約1,000名を対象に比較考察した点は、この研究領域の視点を広げる意味で評価に値し、これまでのストレス研究への新たな視点を開いた点で境界への貢献度が高い。

平成20年度「開放講座」修了式

本学では生涯学習の一環として、一般の授業を開放して社会人聴講生を受け入れ、学生と一緒に学ぶ社会人聴講制度を平成8年度より始め今年度で13回目。

現在では先生方の協力により、平成20年度(春秋学期)の社会人聴講生開講科目数は合計402科目となり、聴講生からは多種多様なジャンルから受講科目を選べることで好評を得ている。

今年度の受講者数は延べ人数で1,215名。

平成21年1月19日(月)、新しく完成したばかりのテラス3階

モンゴル人留学生に奨学金授与



今年もまたモンゴル国立癌センターより、Dr.チンブレン

氏が約1ヶ月の研修、視察のため来名され、亀井基金の奨学金を小出忠孝学長より手渡された。

Dr.チンブレン氏は肝胆脾外科の主任をされており、今回、愛知がんセンター(消化器外科部門(山村義孝部長))で研修を受け、研修期間中は本学口蓋裂協会も協力する。

本学歯学部外科教室とモンゴル国立癌センターとの交流も8年目を迎え、その間、愛知がんセンター、愛知医科大学からも多大な協力を受け、亀井基金での研修は今回で5人目となる。

今後愛知学院大学と外国の大学・施設との交流の一環としてこれからも継続できることを願っております。

小島 卓

第3回 大学院FD講演会

平成20年12月12日(金)、午後3時30分より日進キャンパス3号館3105教室にて、第3回大学院FD講演会が開催された。

この講演会は、教育と研究の発展について検討を進め、関係する諸機関と協力して、特に教育機能の改善を推進することによって、本学の質的向上を図ることを目的とするもので、昨年度より実施され、今回で3回目。

今回は、「『行学一体』について」を演題に、伊藤秀憲文学研究科教授による講演が行なわれ、当日は大学院生ならびに教職員が出席し、講演の後、参加学生からの質疑応答など、活発なやり取りがあり、盛況裡に終了した。

浪川正己名誉教授ご逝去



浪川正己名誉教授・本学評議員が、去る2月25日ご逝去された。享年80歳。

先生は早稲田大学大学院修了。昭和32年4月に本学法学部設置に伴い着任された。専門は商法、特に会社法。研究会では、オーストラリア会社法における取締役の地位と権限を検討することで、わが国の会社取締役の権限と責任を比較的观点から考察した

を授与された。ここに謹んで先生のご冥福をお祈り致します。

平成21年度春季公開講座

総合テーマ「『食』と健康—22世紀に向けて—」

平成21年度春季公開講座のテーマが「『食』と健康—22世紀に向けて—」に決まった。日程は5月30日から7月4日までの毎週土曜日。

昨今、食に関する問題が多く生じている。食は健康・命に直結する問題で、多くの方が関心を持っているテーマ。今回の講座は食品・栄養、健康、社会等の分野から特に「食の観点から将来に向けた健康」を探究する。

月/日	テーマ	講師
① 5月30日(土)	食品汚染問題を考える	薬学部 准教授 藤原 泰之
② 6月6日(土)	食べる—心理学の観点から—	心身科学部 講師 八田 純子
③ 6月13日(土)	生活習慣病予防の最前線:糖尿病/メタボリックシンドロームを中心として	心身科学部 教授 佐藤 祐造
④ 6月20日(土)	遺伝子レベルから見た肥満	心身科学部 教授 村松 壽子
⑤ 6月27日(土)	食品機能学の未来	心身科学部 教授 大澤 俊彦
⑥ 7月4日(土)	ゲームで楽しむ食と健康	経営学部 教授 内藤 勲

お申込み・お問合せ

募集人員	350名 ※お申込み多数の場合は先着順ではなく抽選とさせていただきます。
受講資格	年齢性別不問
受講料	3,000円(資料代として)
申込受付期間	平成21年4月6日(月)~4月20日(月) 必着
申込方法	必要項目(氏名・住所・電話番号・FAX・年齢等)を記入した申込用紙を郵送するか、FAX・メールにて公開講座係まで送信してください
お申込み	〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
お問合せ	愛知学院大学「公開講座」係 TEL:0561-73-1111(代) E-mail: koukai-k@dpc.agu.ac.jp FAX:0561-73-9222

留学生別科

スピーチ・コンテスト

平成20年12月19日(金)、学院会館ホールにおいて、第7回留学生スピーチ・コンテストが行なわれ、17名が個性あふれるスピーチを行なった。

スピーチには日本での留学生生活や日本語学習の大変さ、自分を支えてくれた人々への感謝の気持ち、将来へ向けての決心、人生をどう生きるかなど、別科生一人ひとりの心が素直に反映されていて、深く聴衆の心を打つものがあった。

学長賞に邢文麟さん、別科長賞に王利民さん、長久手町国際交流協会長賞に劉雲霞さんが選ばれた。



交換留学生
バイロン・フロスト君
交流講演会

12月19日(金)、日進キャンパスにて本学と交流協定校であるオーストラリア・ボンド大学からの2008年度交換留学生のバイロン・フロスト君が交流講演会を行なった。



バイロン君はボンド大学の法学部と人文社会科学部で、2年生で、本学の法学部に平成20年9月20日(平成21年1月30日までの4ヶ月在籍した。本学と交流協定校であるボンド大学を知ってもらい、また今後オーストラリアで英語を勉強したい、海外留学を考えている学生に対し、オーストラリアの特徴や風土をわかりやすく紹介すると共に、日本に留学生として滞在している自分の体験を、これから海外留学を希望する学生にわかりやすく説明を行なった。

不正薬物に関する
注意喚起

学生部長 黒神 聡

昨今、大学生の大麻の所持、吸引、栽培が発覚し、大麻取締法違反による事件が相次いで発生しています。昨年には20歳未満の者が220余名、20歳台では1,500余名の者が摘発されています。

その背景には、インターネットの普及があり、種子がネット上で販売され、容易に入手でき、さらには、種子から栽培する方法などの紹介本も出ているのが現状です。

大麻汚染の拡大状況を見る

と、注射器で打つケースが多い。覚せい剤などと異なり、大麻の場合はタバコのように吸引する形態も汚染が広がる要因の一つのようです。

薬物の使用は、使用者の身体、生命に危害を及ぼすのみならず、家庭を崩壊させ、社会の秩序を乱す等、計り知れない影響を及ぼします。このため、薬物を所持・使用することが法律で厳しく規制されており、それらに反した場合には薬物事犯として、たとえ覚せい剤では10年以下、大麻では5年以下の懲役に処せられることとなっています。

現在、政府も大麻等薬物使用の問題を国家レベルの問題として極めて厳しく対応しています。

真理を追究し、人間として成長する場である大学キャンパスやクラブ活動の場を不正行為に利用することは絶対に



許されるものではありません。本学としても、このような不正行為者には厳格に対処いたします。大学は地域や社会とともにあり、学生の皆さんには、学生として常に社会から見られていることを意識し、モラルや社会規範に沿った自覚的行動をとることが求められます。

保護者の皆様方にも、ご息が不正薬物に対して、安易な気持ちや、一事の興味で決して接することのないよう十分注意するようご指導いただければと願うところであります。

心身科学部健康科学科 第2回卒業論文発表会

2月19日(木)、学院会館ホールにて、心身科学部健康科学科 第2回卒業論文発表会が開催された。当日は健康科学科の教員・学生、約200名で会場は埋め尽くされ、佐藤祐造心身科学部長の挨拶の後、片山和男心身科学部教授の司会進行のもと、各ゼミから選抜された8名の学生が研究成果を発表した。

発表会後、会場を学院会館グリルに移して懇親会が開催され、各発表について教員・学生による熱心な討議があらこちらで交わされ、盛況裡に終了した。

発表した各ゼミの代表は以下のとおり。



- | | |
|---|-------------|
| 1. 「合気道の夏季練習時における熱中症の予防対策について」 | 上田 哲也(市原ゼミ) |
| 2. 「愛知学院大学における喫煙対策」 | 松井 梢(大澤ゼミ) |
| 3. 「Euglycemic hyperinsulinemic clamp法に関して
—動物実験を行う際の手術方法の検討—」 | 小林 亮平(佐藤ゼミ) |
| 4. 「身体運動とメンタルヘルスについて」 | 山田 祐伊(高田ゼミ) |
| 5. 「タバコとアルコールの胎児に及ぼす影響」 | 山田 健輔(玉川ゼミ) |
| 6. 「高齢者の若年期の運動習慣と現在の健康状態の関係」 | 大河内博貴(長崎ゼミ) |
| 7. 「炭水化物によるアレルギー反応のメカニズムについて」 | 河内 光穂(村松ゼミ) |
| 8. 「性格特性が表情認知に及ぼす影響」 | 三枝 由佳(片山ゼミ) |

第2回商学部ゼミナール有志による校歌練習会開催

商学部ゼミ有志による校歌練習会が1月8日3年生対象14:30-15:00、4年生対象16:10-16:40に、7402教室にて行なわれた。

3年生対象の練習は就職出陣式で歌えるように、商学部小池教授からキーのあわせ方等を習い、小池教授のハーモニカにて練習した。参加者は小見山ゼミ、近藤ゼミ、小池ゼミ、尾崎ゼミの57名とゼミ外12名、教員4名、計73名。

4年生対象の練習は卒業式で歌えるように、同様に小池教授からキーのあわせ方等を習い、校歌斉唱録音の拝聴後、小池教授のハーモニカにて練習した。



参加者は小見山ゼミ、脇田ゼミ、平野ゼミ、小池ゼミ、尾崎ゼミの43名と教員5名、計48名。

参加した学生は練習をしたが、練習時間が短く、憶えるところまでは達しなかったが、感想は、「校歌の練習は良かった。歌えるようにしたい、覚えたい」と感想を述べていた。

商学部では今後も愛校心を持つ一助として、継続的に続ける予定。



加藤・尾崎・小見山・脇田ゼミ
豊田市中心市街地まちづくり
共同演習発表会

昨年11月7日実施された豊田市中心市街地まちづくり共同演習(愛知学院大学4ゼミ、商業施設学会中部部会、豊田市役所、豊田商工会議所、豊田市中心市街地活性化協議会、愛知県立岡崎商業高校)の本学4ゼミの発表会が、12月19日、本学商学部大会議室にて開催された。

12時50分から共同演習参加者のうち学生7名が豊田市中心市街地のまちづくりの提案、アイデア、地域資源活用等発表を行った。発表後、商業施設学会中部部会所属の先生と岡崎商業高校の先生から評価とアドバイスをいただいた。

本学のゼミ担当の先生からの評価後、加藤勇夫先生から「豊田市のまちづくりの成果をふまえて、今後も他の地域のまちづくりに出かけて継続して学びましょう。」と締めがけあり14時30分に終了した。

その後、商業施設学会中部部会の先生が関わられた、新5号館(旧第1食堂)に移動し、1階フードコート、2階カフェテリア、3階アッセンブリホールを見学し、1階フードコートにて懇談後、解散した。



徳田 祖父 服部 今津 宮島 鳥井 阪野 高橋 村上 横地 田内 鈴木 齋藤 内藤 山田 2口 市村 中尾 3口 村上 伊藤 5口 服部 10口	治彦 二夫 光利 正一 健次 彰人 康春 和安 和之 邦男 幸一 高志 雅文 信 弥生 義広 英世 益男 浩明
野口 出口 長澤 奥村 石濱 吉澤 稲垣 加藤 荒巻 松岡 安達 栗原 戸谷 奥田 中丸 丹羽 民江	智則 浩志 千秋 茂登 知一 光哉 廣美 和男 直人 幹晴 明 繁三 浩貴 昌弘 道夫

寄付金で協力者
平成21年3月2日現在
(順不同)

就職体験記

「就職活動を振り返って」

私は民間の鉄道会社に内定が決まりましたが、もともとは公務員志望でした。仕事自体にあまり興味はなかったのですが、安定志向だったので大学3年になってからは漠然と公務員試験に向けて勉強していました。それでも、公務員試験が失敗した時のために民間企業を受けるか迷いもあったので、大学や就活サイトが実施する合同説明会に参加してみることにしました。合同説明会に参加したことで多くの民間企業のことを知り、中でも公益性が高く、もともと鉄道が好きだったこともあり地元の鉄道会社に興味を持ちました。公務員と民間企業の併願は難しいと言われていましたが、あとで後悔しなかったので選考を受けてみることにしました。このことが就職活動における転機となりました。就職活動をしていくうえでは、説明会に足を運ぶなどして、なるべく早い段階でやりたい仕事を見つけ出し、方向性を絞ることが必要だと思いました。

選考過程では、やはり面接が重要だと思いました。本命の企業の面接前には、学内で行われる模擬面接や、いくつか企業の面接を受けるなどして面接慣れしておいたほうが良いと思います。最初はなかなかうまくいかなかったのですが、面接の数をこなすことで次第に余裕が出てきて落ち着いて面接に臨めるようになりました。

また、就職活動では説明会や面接に遅刻してくる学生がいたりしました。「自分は大丈夫」と頭では思っていたのですが、事前に準備を怠ったことで、ある企業の説明会会場に行くまでの道に迷ったり提出書類を忘れたり、だらしない一面が出てしまい、情けない思いをしました。多忙を極める就職活動においてはスケジュール帳を用いるなどして自己管理は徹底したほうが良いと思います。

就職活動は長いようであつという間でした。辛抱強く頑張ってください。



商学部
米谷哲也

「夢よ、ひらけ」

25周年の東京ディズニーリゾートのテーマは「夢よ、ひらけ」。夢は必ず叶うというこの言葉は、就職活動中、私の支えでした。私は初めてディズニーランドに遊びに行き、ディズニーのお姉さんになりたいという夢を子供ながらに思い描いていました。しかし、夢は憧れのまの夢で、就職活動では現実味のある地元の企業を中心に取り組むつもりでいました。

そんな時、学内の就活ガイダンスで「就職活動というのは、夢を現実のものにするために行うものだ」という話を聞きました。それまで就職活動に対するイメージは、出来たら避けて通りたいとマイナスなものだったので、とても印象に残りました。そして、小さい頃からの夢を叶えるチャンスだと思い、オリエンタルランドの採用試験にダメもとでチャレンジすることを決めました。

「where dreams come true.ここは全ての人の全ての夢が叶う場所だから、諦めずに夢と自分を信じてほしい」という話を説明会で聞き、この会社であたたかい社員の方と一緒に働きたいと強く思いました。選考が進むほど結果を知るのが恐くなり、不安と緊張に押しつぶされそうになった時、心にあったのは運命の会社で働きたいという夢でした。その気持ちを持ち続けながら選考を受け、内定の電話をいただいた瞬間、夢が叶ったという感動が全身にこみ上げてきました。

就職活動中は、数十社と落ち、自分の不甲斐なさにも泣いたこともありましたが、友達やゼミの仲間や、先生やキャリアセンターの方々、バイト先やインターンシップ先の方々、そして家族の支えがあって、夢を持ち続けて頑張れました。

夢は夢だとチャレンジを諦めたらそこで終わりです。迷ったら夢を叶えるために一歩踏み出すことが一番大切だと思います。何もしなかったらそこで終わりです。まさか叶わないだろうという夢でも、叶える力を誰もが持っていると思います。

夢が叶うのはゲストだけじゃない。

全ての就活生の、夢よ、ひらけ!!



文学部歴史学科
井谷加奈子

「2つの目標」

Uターン就職、人の役に立つ職業に就くこと、この2つを目標に就職活動を行いました。

Uターン就職には、地元の就職情報が得難く、交通費が高む、などの難点があります。実際、思うように活動できず5月の時点で8社連続不採用となり腐っていました。そんな私を励まし相談ののってくれたのが、中・高校時代の友人でした。友人の協力のおかげで銀行から内定を頂くことができ、彼女たちには本当に感謝しています。

人の役に立つ職業とは、私にとって生活の基盤である金融業と、公務員でした。2年の春休みに参加した議員インターンシップにて身近で職員を見てきた私は、公務員に対する憧れがありましたが、警察官採用試験で不合格だったことと民間から内定を頂いていたため、公務員は殆ど諦めていました。しかし、「より多くの県民のために働く職業は公務員だ」と再度挑戦しようと思い、家族の助言もあって公務員試験を受験しました。私の県では人物重視の採用をしていたため、筆記対策が不十分だった分面接で勝負しようと頑張りました。控え室にて心掛けていたことは、周囲の受験者との会話です。GD前に面識があったことで充実した討論ができ、メンバーはほぼ全員が合格しました。彼らと共に研修期間を過ごすことが楽しみです。諦めずに目標に向かい、友人や家族の協力があって、納得のいく就職活動を終えることができたと思います。



法学部法律学科
國分瑞菜

「私の自信」

私は就職活動を9月頃から本格的に始めました。始めた当初、就職活動に対し不安な思いはほとんどありませんでした。片っ端から受けていこう。そうすればどこかに受かるだろうという考えで就職活動に臨んでいたからだと思います。とにかくたくさんの企業を受けるために、説明会には行けるだけ行きました。

履歴書やエントリーシートを何十枚も書いて、いざ面接の時期になると、私の就職活動への不安がどっとでてきました。それは、一緒に面接を受けていた人があまりにも自信に満ち溢れていたからです。「私が人事ならば、私よりもこの人を採用するだろう。」そう思ってしまった私は、案の定その企業に落ちました。面接の前までは、私も少しは自信を持っていましたが、私の根拠のない自信はこの時なくなりました。

落ち込んでいる時に救いだったことがあります。それは私がたくさんの企業の面接に申し込んでいたことです。片っ端から受けていこうと考えていた私は、2月、3月のほぼ毎日面接か説明会が入っている状態でした。落ち込む暇もなかった私は、毎日毎日面接に行きました。空いた時間で、企業研究や面接で知り合った友人との意見交換等を行いました。そして、このような生活をしているうちに、本当の自信がついてきました。

私は大学時代、全力で打ち込んだこともなければ、人に自慢できるような資格を取ったわけでもありません。それでも就職活動に対して、時間を惜しまず、やれることは全てやってきました。それにより得られたことは、多くの企業を受けたことで、企業ごとの違いがよく分かるようになったことです。違いが分かれば、なぜその企業に行きたいかがはっきりと言えます。行きたい企業が決まっている人も、その企業を詳しく知るために多くの企業を受けて下さい。それが自信に繋がります。



経営学部経営学科
高原健一

「就職活動を振り返って」

私は金融業界に枠を絞っての就職活動を行いました。

待っていても求人は来ない。自ら動くことが第一歩。私はこのことを初めての会社説明会において強く感じさせられました。受け身では企業側に良い印象を与えることができないばかりでなく、自分自身も正確な情報を得ることができず、決してメリットは多くありません。そのことをきっかけに私は、自ら行動を起こすことを心に決めました。知らないことは恥ではなく知ろうとすることこそが大切であり、会社説明会などでは積極的な言動を心掛けていました。

また、自己分析を行うことの重要性も感じました。それまでにしてきたことや感じてきたことを振り返りながら、自分という物体を多角的に見つめることが鍵であると思います。

一方で、就職活動は私にとって楽しいものでした。一歩踏み出せば出会ったことのない世界がそこにはあり、多くの刺激を受けることができる。それまでの家族、学校といった小さな集合体からの物の見方しかできなかったのに対して、社会というものが多い集合体により支えられ、発展しているということを知ることができました。知識は、何にも勝る武器でもあるので多角的なものの見方もまた重要です。

友人やキャリアセンターの存在が多岐にわたる場面において、私の背中を押してくれました。活動中には将来への不安や自分という存在価値についても自問自答しました。そんなとき自分の周りにいる存在の力を知りました。

就職活動全体を通して、確固たる意思を持つことと事前の準備の大切さを学びました。また、私という人間の内面外面の双方を知ることができました。内定をいただけたことも幸福に思いますが、それ以上に、自分という人間が来年度より世の中の人のための仕事に出会うことができたことに心より感謝の気持ちでいっぱいです。



心身科学部
健康科学科
長谷川智一

「私の就職活動」

私はやりたいことや就きたい仕事ははっきりしていなかったため、就職活動は「とにかくたくさんの企業を見よう」と思っていました。そのため、他の学生よりもスタートダッシュは早かったと思います。就職サイトがオープンすると同時に登録して、少しでも気になった企業やセミナーに参加して多くの企業の話を聞くようにしていました。しかし12月、1月はエントリーしただけで就職活動をしていない気持ちになって、会社説明会にはほとんど行きませんでした。

2月のあたりに友人達から就職活動の話が出始めて、そろそろ自分も動かなきゃと思い、会社説明会やエントリーシートを出し始めました。3月は週4日ペースで選考や説明会に参加し、後半になると、思ったようには選考が進みませんでした。就職活動は落ちるものだと楽観的に考えて、新たにエントリーしたり選考を受けて「ここが落ちたら次がない」という状況をつくらないようにしました。4月は選考の進んでいる企業がいくつかあったので、「どこかは内定もらえるだろう」と自信過剰に思っていました。1社内定をいただきましたが、勤務地の都合で辞退させてもらい、他の企業からも良い結果が届きませんでした。そこで初心に戻り一から考え直した結果、これまでのアルバイト経験から販売業に就きたいと思いました。自動車業界のディーラーを受けようと思っていたら、母に「どうせなら本社から受けてみれば？」と言われたのがきっかけで、初めは記念受験のような気持ちでトヨタ自動車の選考を受けました。選考が進むにつれて「ここで働きたい」という気持ちが強くなりました。まさか内定いただけるとは思ってなかったため、面接では変に緊張せず、いつも通りの自分が出せました。決して自分の力だけではなく、家族や友人に支えられた結果だと思っています。



情報社会政策学部
安田絵梨奈

就職体験記

「夢への一步」

私は1年生の頃から友達と就職の話になる度に常々、保健所の歯科衛生士になりたいと話していました。しかし、保健所の歯科衛生士の募集はどなたかが退任されない限り募集はなく、また、募集があったとしても大学に求人情報が届かないことがあるということでした。

そこで私はインターネットで募集があるかどうかを調べることになりました。やはり、保健所の歯科衛生士の募集は少ないうえ、募集があったとしても県外であったり、歯科医院に勤務した経験がある人であったりとなかなか私の希望のところが見つからず、諦めかけていました。

そんな矢先、短大部事務室から連絡があり名古屋市から募集があるということを知りました。私はもうこれしか望みはないと思い、自分にやれることは全部やってみようという気持ちで挑みました。

まず、履歴書は自分という人間を売り出すためにはどうしたらいいかを念頭に置き時間をかけ、完成させました。また、履歴書などの資料を送付する際は大学のマナー講座で学んだとおりクリアファイルに資料を入れ、送付しました。試験は幸い専門科目であったため、図書館から参考書を借りあさり、空いている時間はできるだけ勉強するようにしました。次に、面接は多くの人の中からいかに印象付けられるかを考え、自分が経験してきたことなども踏まえてアピールするようにしました。

就職活動は、自分のやりたいことを明確にし、それをいかに具体的に伝えられるかが大切です。自分にやれることは全て行い、後悔のない満足のいく就職活動にして貰いたいと思います。



短期大学部
歯科衛生学科
柴山菜実

一期生の就職活動

私が薬学部を目指したときは、漠然と病院薬剤師になりたいとしか思っていませんでした。しかし、学校での就職説明会において、薬剤師にはたくさんの職種があることを知り、さまざまな仕事に興味を持つようになりました。多くの説明会に参加することにより、早い時期から就職活動を意識し始めたと思います。そして、仕事の内容や自分の適性を考えると最終的には、やはり病院薬剤師になりたいと決断しました。

病院への就職活動は、一般企業とは異なり募集時期が病院によってさまざまです。また、同じ病院薬剤師といっても仕事の範囲や教育システムは病院によって異なり、情報の開示があまりされていません。新設の学部である薬学部は、先輩の話聞くこともできないため、情報収集は容易ではありませんでした。そこで、私は友人に薬剤師の方の紹介を依頼してお話を伺いました。また、学校から病院に見学を申し込んでいただき、説明会以外にも、病院の方と直接お話をする機会を得ることができました。病院の教育システムや、見学の際に見た薬剤部の雰囲気を感じました。また、薬剤部長の先生のお人柄にひかれ、この病院に就職したいという気持ちが強くなりました。試験当日はととても緊張していましたが、その先生に声をかけていただき、リラックスして試験に臨むことができました。

就職活動は、積極的に自分から動き、周囲の人の話に耳を傾け、多面的に研究することが大切だと思います。自分一人の力には限りがあるので、日ごろ、多くの人との関わりを持っていたことが私の就職活動を助けてくれました。私の大学生活は、勉強、部活、バイト、ほどほどの遊びと充実した時間を過ごせたと自負しています。これらで養った経験は、面接や履歴書の内容以上に、就職活動を助けてくれたと思います。



薬学部医療薬学科
古川紗帆里

平成20年度卒業生の主な業種別就職・内定先一覧(平成21年3月2日現在)

【総合工事業】 アイシン開発(株) (株)熊谷組 積水ハウス(株) 名工建設(株) 【設備工事業】 三菱電機プラントエンジニアリング(株) 大明(株) 【食料品製造業】 アジパンググループ本社(株) メルシャン(株) (株)浜乙女 日本食研(株) 明治製菓(株) 【飲料・たばこ・飼料製造業】 コカ・コーラセトルジャパン(株) (株)伊藤園 【繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)】 東海染工(株) 【衣服・その他の繊維製品製造業】 クロスプラス(株) サンラリーグループ (株)ワコール 【木材・木製品製造業(家具を除く)】 大日本木材防衛(株) 【家具・装飾品製造業】 クリナップ(株) 【パルプ・紙・紙加工品製造業】 ダイナパック(株) 小林クリエイト(株) 【印刷・同関連業】 (株)シエム・シエ 東洋印刷工業(株) 【化学工業】 キッセイ薬品工業(株) 塩野義製薬(株) (株)カネボウ化粧品 (株)スリーボンド (株)三和化学研究所 興和製薬(株) 島根薬品(株) 日本ペーパードライイングハイム(株) 【石油製品・石炭製品製造業】 エシロ化学工業(株) 【窯業・土石製品製造業】 チョドウテ(株) ビューテック(株) (株)INAX (株)ハネックス 美濃窯業(株) 【鉄鋼業】 中部鋼板(株) 【金属製品製造業】 コマニー(株) リンナイ(株) (株)エフテック (株)東郷製作所 東海プレス工業(株) 豊田スチールセンター(株) 【一般機械器具製造業】 SMC(株) オーエスジー(株) トリニティ工業(株) (株)マキタ (株)川本製作所 (株)中西製作所 (株)牧野アライズ製作所 新東工業(株) 大同金属工業(株) 大和冷機工業(株)	【電気機械器具製造業】 SUNX(株) オリエンタルモーター(株) 愛知電機(株) 河村電器産業(株) (株)ハイト (株)東芝 日東工業(株) 浜名湖電装(株) 【情報通信機械器具製造業】 アイホン(株) (株)パワファロー 【電子部品・デバイス製造業】 オリジン電気(株) 名古屋電機工業(株) 【輸送用機械器具製造業】 トヨタ自動車(株) トヨタ紡織(株) フタバ産業(株) (株)協豊製作所 (株)今仙電機製作所 (株)東海理化電機製作所 極東開発工業(株) 三菱重工工業(株) 大急工業(株) 豊精密工業(株) 豊田合成(株) 林テレンプ(株) 【精密機械器具製造業】 (株)ニテック (株)メニコン 【通信業】 ソフトバンクモバイル(株) 【情報サービス業】 ソラン(株) ティップ(株) トーテックアメニティ(株) 旭情報サービス(株) (株)TKC (株)オービックビジネスコンサルタント (株)サービスウェア・コーポレーション (株)システムリサーチ (株)中電システム・アイ (株)富士通中部システムズ (株)毎日コミュニケーションズ 三菱電機インフォメーションシステムズ(株) 中部日本電気ソフトウェア(株) 富士ソフト(株) 【インターネット付随サービス業】 (株)ぐるなび 【鉄道業】 近畿日本鉄道(株) 九州旅客鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株) 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) 【道路旅客運送業】 三重交通(株) 【道路貨物運送業】 (株)エスラインキフ 西濃運輸(株) 日本梱包運輸倉庫(株) 日本通運(株) 福山通運(株) 郵便事業(株) 【倉庫業】 (株)キューソー流通システム 日本トランスシティ(株) 豊通物流(株)	【運輸に附帯するサービス業】 キムラユニティー(株) 伊勢湾海運(株) (株)上組 鈴与(株) 【各種商品卸売業】 (株)バルテックKS 日通商事(株) 名鉄協商(株) 【繊維・衣服等卸売業】 タキヒヨー(株) モリリン(株) (株)サンエー・インターナショナル (株)三陽商会 興和(株) 進定名古屋(株) 万兵(株) 【飲食料品卸売業】 (株)トーカン (株)昭和 中部食糧(株) 【建築材料・鉱物・金属材料等卸売業】 TOTO中部販売(株) (株)オータケ (株)カノックス 岩谷産業(株) 三協・立山ホールディングス(株) 初穂商事(株) 大同興業(株) 【機械器具卸売業】 いすゞ自動車東海(株) キヤノンシステムアンドサポート(株) コニカミナoltaビジネスソリューションズ(株) ダイワボウ情報システム(株) トヨタL&F中部(株) プリヂンシステム中部販売(株) ホシザキ東海(株) メルダシステムエンジニアリング(株) ヨコハマタイヤ中部販売(株) リコー中部(株) 因幡電機産業(株) (株)トーシン (株)大塚商会 (株)日伝 (株)八神製作所 (株)愛和 黒田電工(株) 三菱重工空調システム(株) 杉本商事(株) 明治電機工業(株) 矢崎総業(株) 【その他の卸売業】 カネボウ化粧品販売(株) シーエス薬品(株) ソーダニッパ(株) 花王カスタマーマーケティング(株) (株)オリバー (株)クラヤ三星堂 (株)スズケン 中北薬品(株) 【各種商品小売業】 イオンリテール(株) ユニー(株) (株)平和堂 【繊維・衣服・身の回り品小売業】 (株)エービーシー・マート (株)タカキュー (株)鈴丹 青山商事(株) 藤久(株)	【飲食料品小売業】 (株)アオキスーパー (株)ハロー (株)ヤマナカ (株)ローソン 【自動車・自転車小売業】 愛知トヨタ自動車(株) (株)ヤナセ 名古屋トヨペット(株) 【家具・じゅう器・機械器具小売業】 (株)エイデン (株)エスケーアイ (株)カーマ (株)カインズ (株)キガス 【その他の小売業】 愛眼(株) (株)アルペン (株)キタムラ (株)コメ兵 (株)スギ薬局 (株)メガネット (株)三洋堂書店 【銀行業】 (株)愛知銀行 (株)岐阜銀行 (株)三井住友銀行 (株)三菱東京UFJ銀行 (株)十六銀行 (株)静岡銀行 (株)静岡中央銀行 (株)泉州銀行 (株)大垣共立銀行 (株)第三銀行 (株)中京銀行 (株)百五銀行 (株)名古屋銀行 【協同組織金融業】 いちい信用金庫 しずおか信用金庫 愛知信用金庫 岡崎信用金庫 掛川信用金庫 蒲郡信用金庫 飛騨信用金庫 興信信用金庫 瀬戸信用金庫 西尾信用金庫 静岡信用金庫 大塚信用金庫 知多信用金庫 中日信用金庫 東海労働金庫 東春信用金庫 東濃信用金庫 半田信用金庫 飛騨信用金庫 尾西信用金庫 富士信用金庫 福井信用金庫 碧海信用金庫 豊田信用金庫 北伊勢上野信用金庫 【貸金業、投資業等非預金信用機関】 トヨタファイナンス(株) 三菱UFJニコス(株) 日立キャピタル(株) 【証券業】 三菱UFJ証券(株)	新光証券(株) 大和証券(株) 東海東京証券(株) 東洋証券(株) 【保険業】 あいおい損害保険(株) 住友生命保険相互会社 第一生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 【不動産取引業】 (株)エイブル (株)サンヨーハウジング名古屋 【不動産賃貸業・管理業】 積和不動産中部(株) 【宿泊業】 リゾートトラスト(株) (株)オークラアクティビティホテル浜松 (株)ジェイアール東海ホテルズ (株)名古屋観光ホテル (株)名古屋東急ホテル 【医療業】 愛知県厚生農業協同組合連合会 (医)杏嶺会 (医)社田ホスピタルグループ スコール (医)社田一徳会 西山病院グループ (医)松陽会 松浦病院 (医)知恵舎 岩倉病院 (医)柏原会 赤穂中央病院 (医)白山会 白山リハビリテーション病院 (医)並木会並木病院 (学)東海大学 医学部付属病院 三重県厚生農業協同組合連合会 長野県厚生農業協同組合連合会 安曇総合病院 (特医)曙総合 榊原温泉病院 【学校教育】 (学)愛知学院 (学)金沢医科大学 (学)藤田学園 (学)名古屋石田学園 (学)愛護学校聖母の家学園 【その他の教育、学習支援業】 (株)ジー・コミュニケーション (株)秀英予備校 【郵便局(別掲を除く)】 郵便局(株) 【協同組合(他に分類されないもの)】 あいち海産農業協同組合 あいち三河農業協同組合 あいち知多農業協同組合 あいち尾東農業協同組合 ぎふ農業協同組合 トヨタ生活協同組合 なごや農業協同組合 ひまわり農業協同組合 愛知みなみ農業協同組合 愛知北農業協同組合 遠州中央農業協同組合 海部東農業協同組合 桑名農業協同組合 高岡市農業協同組合 三ヶ日町農業協同組合 生活協同組合コープみえ 静岡市農業協同組合 大井川農業協同組合 尾張中央農業協同組合 福井県農業協同組合中央会 緑園農業協同組合 愛知西農業協同組合 とびあ浜松農業協同組合 みなみ信州農業協同組合	愛知県経済農業協同組合連合会 愛知県信用農業協同組合連合会 岐阜県信用農業協同組合連合会 西三河農業協同組合 西美濃農業協同組合 【その他の生活関連サービス業】 (株)愛知冠婚葬祭互助会 (株)JTB中部 (株)平安閣 近畿日本ツーリスト(株) 【娯楽業】 (株)オリエンタルランド 【物品賃貸業】 (株)アクトイオ (株)トーカイ 太陽建機レンタル(株) 【広告業】 (株)学情 (株)電通 (株)博報堂プロダクツ 【その他の事業サービス業】 セコム(株) 総合警備保障(株) 大成(株) 【政治・経済・文化団体】 愛知県国民健康保険団体連合会 愛知県行政書士会 四日市商工会議所 社団法人日本貨物検査協会 浜松商工会議所 【国家公務員】 関東信越国税局 東京国税局 法務省大阪矯正管区 法務省名古屋矯正管区 防衛省 名古屋国税局 【地方公務員】 愛知県教育委員会 愛知県警察本部 岡崎市役所 可成消防事務組合 岐阜県教育委員会 岐阜県警察本部 岐阜市役所 警視庁 大山市役所 江南市役所 高岡市役所 三重県警察本部 藤山市役所 常滑市役所 甚目寺町役場 瀬戸市役所 清須市役所 西尾市役所 静岡県教育委員会 静岡県警察本部 静岡県人事委員会 大治町役場 知多市役所 長久手町役場 東京消防庁 尾三消防組合 浜松市役所 豊山町役場 豊田市役所 本巣市役所 名古屋市役所 鈴鹿市役所
--	--	--	--	--	--

「第41回リーダーシップ・トレーニング」

大町セミナーハウスで
2泊3日開催

2月18日・20日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブのリーダーを対象とした「第41回リーダーシップ・トレーニング」が、運動部47団体・文化部46団体・一般学生1名の学生94名、指導助言者の教職員16名、合計110名の参加により開催された。



「クラブの企画運営」(平賀正剛経営学部准教授)、「クラブの組織管理」(北田豊治教養部准教授、近藤万峰商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授、岡島秀隆教養部教授)、「危機管理」(杉本一敏法学部准教授)の6班に分かれ分科会が実施された。どの分科会も特色あるものであり、熱心な指導助言者のもと、参加学生も真剣に受講していた。



開講式で黒神聰学生部長から「本学課外活動の危機・危機を成長力につなげるか」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「「じぶん」を探そうー自我状態の把握ー」、「リーダーシップをとるために」を高田正義心身科学部准教授、「健康管理の必要性」を北田豊治教養部准教授により講習が実施された。

また、各クラブを団体競技系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音楽系、公演・資格取得系の7分野に分けた「系統別懇談会」では、学生自身による議事進行で、全グループ共通の討議テーマである「クラブ内の人間関係について」の意見交換がなされた。その他にも、「同系クラブがもっている運営上の問題点・解決策」など、幅



最終日の閉講式では、各系統別懇談会の代表学生による懇談内容を発表し、高田正義心身科学部准教授の総括講評で全行程を終了した。

研修に参加した各クラブ代表者には、今後の活動に於いて、学生生活における課外活動の意義・目的を認識し、人間的成長・社会意識の向上へと繋げ、研修の成果を存分に発揮してくれることを期待したい。

「クラブの企画運営」(平賀正剛経営学部准教授)、「クラブの組織管理」(北田豊治教養部准教授、近藤万峰商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授、岡島秀隆教養部教授)、「危機管理」(杉本一敏法学部准教授)の6班に分かれ分科会が実施された。どの分科会も特色あるものであり、熱心な指導助言者のもと、参加学生も真剣に受講していた。

ボンド大学 交換留学体験記

心身科学部心理学科三年 大脇麻美



最初の試練は成田空港で起こりました。オーストラリア行きの便が遅れていたため、予約していた現地のバス会社と連絡をしなければいけなかったのです。そのときは紙に自分の言いたいことをあらかじめ書き、それを読み上げるので精一杯でした。そのとき改めて絶対英語を上達して日本に帰るぞと心に決めました。やれることは全てやって悔いのない留学生活を送ることがわたしの目標でした。授業中とは全く積極的に発言して自分から話す努力をし、授業後には、週2回のコンパセーションクラブに行き、ボンド大学のボランティアの学生や他のクラスの留学生と会話の練習をしました。また、留学生でもボンド大学のクラブに入る事ができるので、テニスクラブに入り普段校舎が離れていて交流することのできないボンド大学の学生とも仲良くなりました。大学のボランティアクラブを通じてホームレスに食事を配布するボランティアにも参加しました。こういった活動からたくさんの方と知り合えました。毎日の学校生活は、毎日学校へ行くのがとても楽しかったです。そして、毎日学校であった



できことをホストファミリーに聞いてもらうのも留学中の楽しみの一つでした。いつも夕食と一緒に食べながら一日の出来事や日本のことを話したり、オーストラリアのことを聞いたりしました。わたしがコンパセーションクラブやテニスクラブに入ったり、ボランティアに参加したりいろいろなことに挑戦するのを楽しんでくれて、いつも応援してくれました。休日はホストファミリーに海やハイキングに連れて行ってもらったり、親戚の家に連れて行ってもらったり、一緒にラグビーを観戦したり、家族の一員としてとても楽しい時間を過ごしました。

ステイ先がこのホストファミリーだったから、知らない土地でも一人ががんばることができたのだと思います。学校では勉強の甲斐あって、5週間後にレベルアップすることができました。新しいクラスはB2対策が中心のアカデミック英語を学ぶクラスでした。今までのクラスは文法が中心で少し物足りなさを感じていましたが、このクラスでは勉強が難しい分、やりがいがあり、周りの生徒のやる気も高かったので、それに刺激

され楽しんで勉強することができました。文法、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングと幅広い学び、プレゼンテーションの時間もありませんでした。わたしはスピーキングが苦手だったので、プレゼンテーションの回数を重ねることに上手くなっている、先生にもクラスの最初のころと比べると授業中によく発言するようになったと最後に褒めてもらいました。滞在が終わりに近づいてくるころには、チケットの確認やバスの予約も電話でできるようになり、英語力はずいぶん上がったと思います。



今回の留学では、いろいろな国の文化や考え方に触れ、日本の良いところ、悪いところ、気付くことができました。また、自分ももっと日本と他の国のことについてもっと知ろうと思いました。英語だけでなくいろいろなことをこの留学で得たと思います。ボンド大学で知り合った友人とは日本に帰ってきた今でもLINEやメールで連絡をとっています。良い機会をあたえてくださった国際交流センターの方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

今回の留学では、いろいろな国の文化や考え方に触れ、日本の良いところ、悪いところ、気付くことができました。また、自分ももっと日本と他の国のことについてもっと知ろうと思いました。英語だけでなくいろいろなことをこの留学で得たと思います。ボンド大学で知り合った友人とは日本に帰ってきた今でもLINEやメールで連絡をとっています。良い機会をあたえてくださった国際交流センターの方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

今回の留学では、いろいろな国の文化や考え方に触れ、日本の良いところ、悪いところ、気付くことができました。また、自分ももっと日本と他の国のことについてもっと知ろうと思いました。英語だけでなくいろいろなことをこの留学で得たと思います。ボンド大学で知り合った友人とは日本に帰ってきた今でもLINEやメールで連絡をとっています。良い機会をあたえてくださった国際交流センターの方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

■会場
けやきテラス (新5号館)

■注意事項
※上記の日程で受診できない方は、外部の医療機関で健診を受け、保健センターに提出して下さい。
(用紙は保健センターにあります。外部での検査費用は自己負担をお願いします。)
また平成21年3月以降に外部の医療機関で健診を受けた方は、その診断書の写しを提出して下さい。
(この件に関するお問い合わせ先) 愛知学院大学 保健センター

平成21年度の定期健康診断を下記のとおり実施いたします。
期間内のいずれかの日時に必ず受診して下さい。
受診当日は、学生証・筆記用具・眼鏡(眼鏡使用者のみ)を持参して下さい。

■日 時	
学 部	4年生
大学院	修士2年生・博士3年生
法科大学院	3年生
平成21年4月1日(水)～4月3日(金)	
午前9時30分から午後4時30分まで	
学 部	1・2・3年生
大学院	修士1年生・博士1・2年生
法科大学院	1・2年生
平成20年5月21日(木)～5月23日(土)	
5月25日(月)～27日(水)	
午前9時30分から午後4時まで	
※5月23(土)は午後1時で終了します。	

平成20年度健康診断(日進学舎)

1月30日(金)、日進キャンパス百周年記念講堂で、就職活動中の3年生を対象に出陣式が行なわれ、意欲ある学生、約700名の学生が参加した。
式は10時より芝隆史キャリアセンター部長の挨拶に始まり、その後、学生はけやきテラス3階・さくらテラス学生ホールで開催されている企業面談会に挑んでいた。



り、続いて就職課職員から同日学内で実施される企業面談会・企業セミナー、キャリアセンターの有効な利用の方法などの説明ののち、小池商学部教授のハーマニカの伴奏による校歌の合唱、チャリディング部の実演などのセレモニーが行なわれ、式に彩を加え盛大に行なわれた。式の終了時にはこれからの厳しい就職活動を共に乗り切ろうと、教職員・参加学生一丸となって拳を上げて大声で気合を入れた。

就職活動 出陣式